

三二三六番

そらみつ

やまと大和の国

あきによし

ならやまこ奈良山越えて

やましろ山背の

つつき管木の原

ちはやぶる

うぢ宇治の渡り

たきつや滝屋の

あごね阿後尼の原を

ちとせ千年に

か欠くることなく

よろづよ万代に

がよあり通はむと

やましな山科の

いはた石田の社の

すめかみ皇神に

ぬさと弊取り向けて

われ我は越え行く

あふさかやま逢坂山を